

松浦高校陸上部 優勝



(松浦高校提供)

11月6日、雲仙市小浜町で開催された第64回長崎県高等学校総合体育大会駅伝競走大会(7区間、42.195km)で松浦高校陸上部(男子)が見事、初優勝しました。

全区間で区間賞を取るという圧倒的な強さで、昨年3位の雪辱を果たし、完全優勝を果たしました。

【総合順位】(上位3位)

- 優勝 県立松浦高等学校 2時間11分26秒
- 2位 鎮西学院高等学校 2時間13分49秒
- 3位 県立諫早高等学校 2時間14分55秒

【区間タイム】(個人)

1区(10km)	3年	坂本 竜平	31分15秒
2区(3km)	1年	小辻 貴史	9分18秒
3区(8.1075km)	2年	宮本 仁徳	24分46秒
4区(8.0875km)	3年	恋塚 斗貴	26分19秒
5区(3km)	2年	大石 凌	9分14秒
6区(5km)	3年	久枝 大寛	15分14秒
7区(5km)	2年	松村 脩平	15分20秒



(松浦高校提供)

Interview

松浦高校陸上部顧問 澤田 洋 先生

Q 12月の全国大会へ向けてのポイントは何ですか？

A まだまだ全国レベルには達していません。また、初出場の大会で緊張もあると思います。その中で平常心を保ち、どれだけ力を出し切れるかが重要です。今年の出場選手たちは精神的にも強く、素直で頑張れる子ばかりです。全国大会でも実力を発揮してくれると期待しています。

Q 就任13年目での初優勝、監督生活でも初の県高校駅伝優勝ですが、今のお気持ちを聞かせてください。

A 昨年は実力はありながら、優勝できず、悔しい思いをしたので、「臥薪嘗胆」を今年のキャッチフレーズに決めて練習に励んできました。しかしこんなに差をつけて、まさか全ての区間で区間賞を取るとは思いもありませんでした。力を出し切れたのだと思います。県大会での選手たちの走りは200点です！



(松浦高校提供)



【3区】宮本 仁徳さん
 去年はとても悔しい思いをしましたが、今年は全区間区間賞で完全優勝できてとても嬉しいです。全国大会でも皆さんを感動させる走りをしたいです。



【2区】小辻 貴史さん
 県大会で走れなかったほかの部員へも次の大会というチャンスができて良かったです。今まで支えてくれた皆さんに最大限の恩返しができました。



【1区】坂本 竜平さん(主将)
 自分が引っ張る気持ちで頑張りました。部員全員と周りの人たちみんなでつかんだ優勝です。全国大会は県の代表として自覚と責任を持って、全力を尽くします。



【5区】大石 凌さん
 去年の悔しさをバネに頑張りました。優勝できてとても嬉しいです。全国大会でも悔いのないレースをし、九州から出場する中でもトップクラスに入りたいです。



今回の県高校総体駅伝競走大会で、力強い走りを見せた7人の走者を紹介します。



【4区】恋塚 斗貴さん
 いつも支えてくれる周りの人への感謝の気持ちを“優勝”でお返しできて嬉しいです。“1秒”の重さを考え、全国大会では県内他校の分まで頑張りたいと思います。

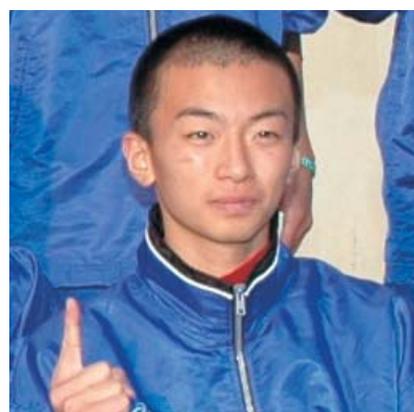
松浦高校陸上部は、11月18日(日)に福岡県で行われた全九州高校駅伝大会に出場し、2時間8分23秒のタイムで県勢トップの5位入賞を果たしました。

次はいよいよ全国大会です。全国高等学校駅伝競走大会は、12月23日(日)、京都市で開催されます。憧れの都大路を全力で駆け抜ける選手たちの活躍にご期待ください。

今後も松浦高校陸上部へ皆さんの温かいご支援・応援をよろしくお願いします。



【7区】松村 脩平さん
 コンディションが悪い時もありましたが、周りのたくさんの人に支えてもらって優勝できました。全国大会で県の代表として良い結果を出すためにも、甘えをなくして頑張ります。



【6区】久枝 大寛さん
 県大会では、“今年こそは”という気持ちで走りました。この優勝は自分たちだけで成し遂げたものではありません。応援してくれる周りの多くの人に勇気付けられました。ありがとうございます。

(松浦高校提供)